

緑陽台認定こども園 園長だより

令和5年11月27日 緑陽台認定こども園 No.17 文責：川原

11月の お誕生会

11月16日(木)11月生まれさんのお誕生会が行われました。11月にお誕生日を迎えた12名のお友だちがステージに上がり、みんなでお祝いをしました。自己紹介やごきげんうかがいのお歌ではカッコいい姿を見せてくれましたよ。自己紹介では、以上児さんは大きくなっただけならぬものを「アイスクリーム屋さん」や「スーパーヒーロー」「仮面ライダー」などと教えてくれました。未満児さんは、好きな食べ物を「アイス」「みかん」「肉じゃが」と、教えてくれましたよ。

お誕生会のお楽しみは、れな先生とひめな先生とみなみ先生による「マジックショー」でした。ペットボトルの水の色を変えたり、紙袋の中に色水を入れるとお誕生日をお祝いするグッズが現れたり、不思議なマジックに大盛り上がりでした。どのクラスもそれぞれ発表会の練習を頑張っている最中ですが、こども園のお友だち全員で集まって誕生会に参加することはやっぱり楽しかったようで、笑顔いっぱいのお誕生会となりました。



発表会の取り組み 頑張っています

約1か月前、各クラスの発表会の取り組みが始まりました。コロナによる制限がなくなった今年の発表会。どのような形で行うか？職員間での話し合いから始まりました。コロナ禍ではクラスごとの開催となり、他学年の発表を見て、各年齢の発達段階や集団性を見ていただく機会が持てませんでした。今年度は、他学年の発表にも触れていただけるよう発表会を2日に分けて行うこととしました。お子様よりも小さな学年の発表を見ていただくことでこれまでの成長を振り返っていただいたり、お子様よりも大きな学年の発表を見ていただくことで今後の成長に期待を持っていただいたりするきっかけになればと思います。

未満児クラスは、表現あそびということで生活の中で行っていることを「発表」という形に変えて行います。お遊戯やご挨拶、お名前呼びや先生との掛け合いなどクラスによって発表の形は様々です。日頃の生活の様子が伝わる発表となっていますので、お楽しみください。

以上児は劇ともう一つの演目に取り組みます。“劇はどのお話にしようか？”“言いやすいセリフは？”“セリフに合わせた身振りはどうしよう？”と、どのクラスも子どもたちとともに考えながら劇を作り上げてきました。もう一つの演目については、年齢によりできることも異なりますし、この発表会で育ててほしいことなどの思いも加味しながら、各クラス演目を決めました。取り組みの様子や総練習の様子を見ても、各学年の発達段階に即した発表となっていると感じられるものとなりました。

職員も取り組みの進め方や、発表の構成・衣装・小物の準備に試行錯誤して進めてまいりました。こども園全体で発表会の成功を目指し、同じ方向を向いて頑張ってきました。協力して力を合わせて何かを成し遂げるといった経験が、子どもたちやクラス集団の成長につながっていくことを期待しています。